

3 特定非営利活動法人 一粒舎

視察受入れ：可 報道機関受入れ：可



荒廃農地を活用した高収益のブルーベリー（無農薬・無化学肥料）を栽培し、新たに障害者と高齢者の雇用機会を創出。観光農園として、首都圏住民の誘客が図られ地域活性化にも大きく貢献。6次産業化で高い工賃を実現。

基本情報

- 所在地：千葉県木更津市
- 団体名：特定非営利活動法人一粒舎
- 取組パターン：福祉完結型
- 選定表彰：豊かなむらづくり農林水産大臣賞（2016年）木更津市観光ブルーベリー園協議会で団体表彰
- 主力商品・イベント：
 - キッチンカーによる出張販売、ブルーベリー、ブルーベリー加工商品（ジャム・クロワッサンサンド・スムージー・パフェ等）、無農薬野菜



ブルーベリー商品

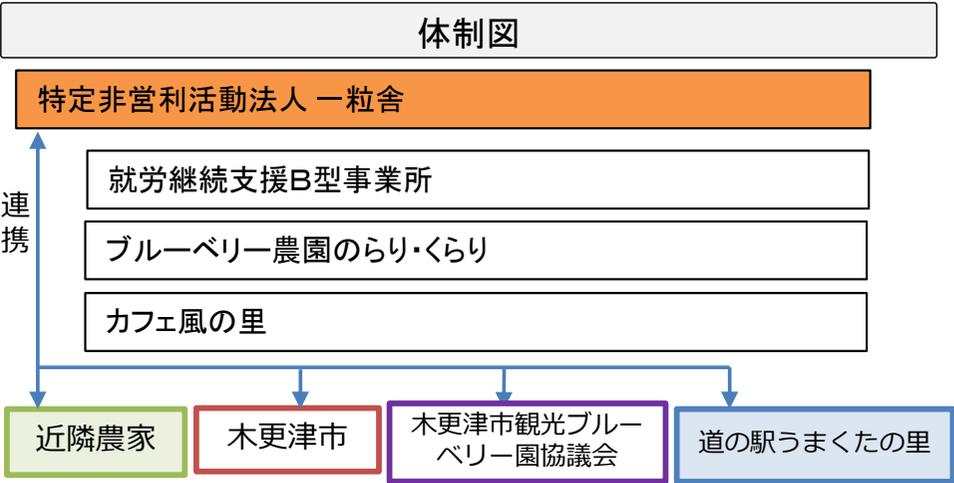
取組の概要

- 障害者20名がブルーベリー栽培、加工、販売、観光農園スタッフとして仕事に従事。1.2haのブルーベリー園の管理のほか隣接する里山3haを保全管理。
- 作業機械の講習を行い、安全に機械操作ができる障害者が増加。機械操作が不得手な障害者には手作業中心の野菜作りなどの仕事を担当。職域を広げ観光農園の受付やレジに障害者を登用。
- ブルーベリー以外にも荒廃農地となった里山の竹や草を刈った後に桜や菜花を植栽。
- 2021年にブルーベリー園が有機JAS認定。
- 職員（10人）の平均年齢68歳。農業未経験者の第二の就職先として福祉と農業に高齢者ならではの知恵と力を発揮。





ブルーベリーの摘みとり
地域住民から依頼された草刈作業
再生された里山



取組の成果

- 耕作面積：取組当初(2007年)の2,500㎡から12,000㎡（2020年）に拡大。
- 平均工賃（月）：約4万5千円（2020年）となり、取組当初の1万8千円から約2.4倍に上昇。工賃は千葉県内に約400あるB型作業所の中で5指に入る。
- 障害者就労：取組当初の16人から20人（2020年）に就労拡大。
- 波及的な成果：地元小学校にもブルーベリーが植樹されるなど地域特産として児童の情操教育にも貢献。市内の全小学生対象に、毎年協議会の摘み取り案内のチラシを配布。

所在地 ▶ 〒292-0211 千葉県木更津市大稲54-1
 連絡先 ▶ TEL：0438-53-8115 FAX：0438-53-8116 E-mail:bb_norarikurari@yahoo.co.jp
 ウェブサイト ▶ <https://www.norarikurai.info/>

【取組のプロセス】

荒廃農地の増加
地域活力の低下
工賃の向上

2007年～

木更津市に相談

2008年～

リタイアする農家
が急増

2010年～

カフェ、道の駅による
販路開拓

2018年～

今後の
展望

きっかけ

最低3万円の工賃を目標にして福祉事業所を開設したが景気低迷により
下請作業が減少。

梨園跡地でブルーベリーを植栽

- 下請けしていた従来の仕事がなくなり農業を検討。
- 遊休農地の活用を木更津市に相談し、「高収益」と「農薬を使わないブルーベリー」にひかれ取り組む。梨園の跡地を借りて開墾し400本植栽。

近隣のリタイア農家から田畑賃貸が急増

- 農家の高齢化とともにリタイアする農家より農地を賃借。
- ブルーベリーが当初植栽した400本から1200本に増加。ブルーベリー園を拡大。
- NPO法人格を取得。2011年から就労継続支援B型事業所へ移行。
- 圏央道開通に伴い、キッチンカーを導入。

カフェ 風のさと開設、無農薬新鮮野菜商品の開発・販売

- 廃屋の納屋を改装しカフェを開設。観光農園、カフェのレジは障害者が担当し新たな雇用の場を創出。職員は異業種を定年退職した高齢者が第二の職場として活躍。
- 無農薬野菜とブルーベリージャムをクロワッサンサンドにして道の駅でも提供。
- キッチンカーを作り、様々なイベント会場に出張販売。ブルーベリーのスムージーやパフェを提供して、ブルーベリーの魅力を宣伝。

ブルーベリーがつくる新たな農福連携に挑戦

- ブルーベリー観光農園を柱として、里山の自然を生かした体験型イベントや花の里として新たな交流人口を創出。
- 2021年に有機JAS認定。さらに来園者・障害者雇用を増やすきっかけづくりとしたい。
- 農業+福祉+高齢者の仕組みを確立して、地域の活性化を図りたい。
- 利用者の月当たり平均工賃を5万円以上にしていく。



キッチンカーによる出張販売



イベント（感謝祭）



風のさと（カフェ）



利用者、職員全員集合写真